

# 平成 27 年度予算の主要施策の概要

[拡] 事業拡充

[新] 新規事業

[定] 定住自立圏関連事業

## 「元気とくしま」の実現

個性的で活力と魅力にあふれた、全国に存在感を発信できる、「元気とくしま」の実現を目指します。

- 1 「心おどる水都・とくしま」発信事業 13,200千円  
「心おどる水都・とくしま」発信プランに基づき、産学官民が連携して、ここにしかない魅力づくりに取り組むとともに、全国へ向けた戦略的なプロモーション活動を展開する。
- 2 徳島ひょうたん島水都祭開催費補助 [拡] [定] 6,750千円  
ひょうたん島周辺を舞台に、NPO等の様々な事業主体が連携し、本市の魅力を伝える様々な体験プログラムやイベントを開催することで、市中心部の交流人口の拡大と、全国的な本市のイメージアップを図る。
- 3 定住自立圏構想推進事業 [定] 1,510千円  
「徳島東部地域定住自立圏共生ビジョン」に基づき、圏域全体の活性化と魅力ある地域づくりに資する連携事業を推進するとともに、圏域の住民に対し、PR活動を実施する。
- 4 U I J ターン促進事業 [新] (3月補正) 8,000千円  
U I J ターンにより、中小企業に正規雇用された若年者に就職奨励金を交付するとともに、住宅取得費用等の一部を助成するほか、中小企業者に対し、県外での合同就職ガイダンス等への参加費用の一部を助成することにより、中小企業の振興と、本市への定住促進を図る。
- 5 地域経済の活性化  
起業や、販路拡大の支援などにより、地域経済の活性化を図る。
  - (1) 創業促進事業 [拡] ※一部 [定] 8,940千円  
創業意欲を高めるためのセミナーや講演会などを開催するとともに、会社設立までに要する経費や創業後の継続的発展、経営の安定を図るための経費を助成することで、創業数の増加を図る。
  - (2) コールセンター等立地促進事業 21,300千円  
雇用の拡大を図るため、コールセンター等の情報通信関連事業所に雇用奨励金を交付するとともに、事業所開設時における改装費用の一部を補助する。
  - (3) 中小企業販路拡大支援事業 [拡] 18,906千円  
製品開発や展示会出展助成のほか、首都圏におけるテストマーケティングの支援を行い、中小企業の販路拡大を図る。
  - (4) 中小企業等人材育成事業 [拡] 5,456千円  
本市産業人材の育成を図るため、多くの企業に共通するテーマをカリキュラムとした研修を行うほか、ものづくりの技術向上や技能継承を目的とした研修を行う中小企業に対し、費用の一部を助成する。

- (5) 中心商店街活性化支援事業 [拡] 8, 075千円  
空き店舗の改装経費や店舗の魅力アップに要する経費等の一部を助成することにより、中心商店街の活性化を図る。

## 6 地域消費喚起・生活支援対策 (3月補正)

国の補正予算と連動し、地域の消費喚起を促すとともに、生活を支援する。

- (1) プレミアム付地域商品券発行事業費補助 [拡] 148, 500千円  
地域の消費喚起を促し、地域経済の好循環を図るため、地域商店等で使用可能なプレミアム付き地域商品券の発行を支援する。
- (2) ふるさと名物商品販売促進事業 [新] 5, 400千円  
インターネットの通販サイトで、本市地場産品を割引販売した事業者等に対し、その割引分を助成することで、県外の消費者に向けた地場産品の販売の拡大と知名度向上を図る。
- (3) 住宅リフォーム支援事業 [拡] 61, 000千円  
地域経済の活性化及び雇用の創出を促進するとともに、市民の住環境の向上を図るため、個人で所有し居住する住宅の改修や修繕、設備改善などに係る費用を支援する。  
補助額：補助対象工事費用の20%以内で上限200千円
- (4) 既存木造住宅耐震改修支援事業 [新] 9, 900千円  
民間木造住宅の耐震改修を促進するため、改修費用の上乗せ助成を行う。  
補助額：上限200千円
- (5) 木造住宅除却住替え支援事業 [新] 34, 450千円  
耐震化率の向上を図るため、建替えや住替えに伴う、既存家屋の除却費用を支援する  
補助額：上限300千円
- (6) 健康づくりポイント事業 [新] 2, 090千円  
健康増進と消費喚起を図るため、特定健診の受診や、ウォーキングの目標設定の達成などをポイント化し、目標達成者に商品券を交付する。

## 7 働く女性の支援

女性の再就職や女性起業家の活動を支援することで、働く女性の活躍促進を図る。

- (1) 女性の再就職支援事業 [新] 2, 160千円  
各種セミナーの開催や職業紹介により、出産・育児等のために離職した女性の再就職を支援することで、女性を取り巻く雇用環境の改善を図るとともに、企業における労働力の確保を支援する。
- (2) AWAおんなあきんど塾事業 [拡] 2, 379千円  
女性起業家の集まりである「AWAおんなあきんど塾」と協働で勉強会等を開催することにより、働く女性等の意識向上を図るほか、創設20周年事業を実施する。

## 8 阿波おどり魅力体験事業 5, 353千円

心おどる水都・とくしま連での演舞場踊りこみや、にわか連へのハッピー貸し出しを行い、全国的な阿波おどりファンの拡大を図るとともに、市内の小学生を対象とした「阿波おどり育成出前講座事業」を実施し、本場の阿波おどりの伝統・文化を継承していく将来の担い手づくりに取り組む。

## 9 大学連携観光資源研究費 [新] 5, 088千円

地域の課題解決のため、包括連携協定を締結している大学との連携により、新たな観光資源や、観光振興策の検討を行う。

## 10 おもてなし観光の推進

本市を訪れる方々が安心して楽しむことができるよう、温かいおもてなしの心による観光地づくりを推進する。

- (1) 徳島東部地域体験観光市町村連絡協議会負担金 [定] 7, 300千円  
徳島東部地域市町村長懇話会構成 12 市町村で設置した連絡協議会により、広域的な観光メニューを検討するとともに、連携して様々な事業を展開する。
- (2) 広域観光案内ステーション事業 [定] 14, 450千円  
広域的な観光資源を活用した長期滞在型観光を推進するため、「広域観光案内ステーション」において、12 市町村の観光情報の収集・発信を一元的に管理し、観光・宿泊案内や物産品の紹介などを行うことにより、滞在交流期間の増大や観光消費の拡大を図る。
- (3) 電動スクーター等観光レンタル事業 [定] 9, 577千円  
観光地巡りの交通手段として、電動バイクや電動アシスト付自転車のレンタル事業を実施し、観光客等の利便性・周遊性の向上を図る。

## 11 眉山山頂観光展望施設等建設事業 [定] 117, 734千円

眉山山頂の魅力アップのため、旧ロープウェイ山頂駅舎を解体し、観光展望施設を新築するとともに、隣接する展望休憩施設も改修し、観光客の誘致と滞在時間の延長を図る。

平成 26 年度:設計、平成 27 年度～平成 28 年度:工事

## 12 道の駅の整備

- (1) 地域振興施設整備事業 22, 861千円  
市中心部への中継点として、国府に「道の駅」を整備し、観光情報の提供や地元物産品の販売等を行い、観光客の利便性向上と地域活性化を図る。  
平成 27 年度:基本設計、平成 28 年度:実施設計、平成 29 年度～平成 30 年度:工事
- (2) 農産物販売拠点施設運営計画策定事業 [新] (3 月補正) 5, 167千円  
国府の「道の駅」で整備予定の直売所等の運営方法について、JA や生産者等とともに検討を行う。

## 13 農林水産物の消費拡大

本市の魅力ある農林水産物の消費拡大を図るとともに、生産体制を強化する。

- (1) 農産物魅力発信事業 [定] 1, 617千円  
アミコビル地下 1 階にある広域観光案内ステーションにおいて観光部門との連携を図りながら、東部圏域連携市町村の農産物加工品などを含む特産品を紹介するパンフレット等の作成のほか、連携市町村の協力のもとにイベントを開催するなど、地元農産物の魅力を PR する。
- (2) 地産地消推進事業 [定] 4, 744千円  
農林水産物の良さや魅力を再認識してもらい、地場産食材の利用拡大を図るため、「とくしま I P P I N 店」の認定や、食材の PR・販売などを実施する「とくしま食材フェア」を連携市町村とともに開催する。
- (3) 健やか新鮮ブランド産地づくり事業 14, 010千円  
農林産物の「とくしまブランド」確立と生産体制の強化を図るための施設整備等に対して支援する。
- (4) とくしま食材ブランド化推進事業 [新] (3 月補正) 5, 100千円  
首都圏において、本市農産物の PR 活動を行い、知名度の向上と、販路拡大を図る。

## 14 農業における経営所得安定対策の推進

農地の利用集積を高めることで、持続可能な力強い農業構造の実現を目指すとともに、新規就農者の確保を図るため、経営が軌道に乗るまでの間、所得確保の観点から支援する。

(1) 農地集積推進事業 3, 250千円

農地中間管理事業を利用した農地集積協力者への支援。

(2) 新規就農者支援事業 46, 694千円

新規就農者に対する青年就農給付金を給付(経営開始から最長5年間、限度額:1,500千円/年)。

## 15 新町西地区市街地再開発事業 4, 988千円

中心市街地の都市機能再生等を図るため、新町西地区市街地再開発組合が事業主体となり推進している再開発事業に対して支援する。

## 16 新ホール整備推進事業 10, 400千円

新町西地区市街地再開発事業と一体的に整備する新ホールが、市民の芸術文化の創造拠点となるよう、「新ホール管理運営計画」に基づき、開館に向けての準備業務と併せて、新ホールを拠点とした市民参加の仕組みづくりを行う。

## 17 市民文化振興事業 5, 444千円

芸術文化創造アドバイザー三枝成彰氏の協力により、学校等での音楽教室の開催をはじめ、市民参加による様々な文化事業を実施し、市民の文化活動の活性化を図る。

## 18 徳島駅前再開発施設整備事業 [新] 40, 000千円

アミコビルの利便性向上のため、アミコビル外側の南北2か所に設置予定のエレベーターについて、整備費用の一部を助成する。

## 19 高速道路・街路整備の推進

四国の玄関口にふさわしい交通体系を構築するため、四国横断自動車道や、街路の整備を進めるとともに、人々が集い、行き交う環境づくりを推進する。

(1) 四国横断自動車道関連の整備 480, 761千円

側道整備のほか、周辺対策(道路・水路の整備)を実施

(2) 街路の整備 444, 715千円

住吉万代園瀬橋線(南昭和工区)等

## 20 鉄道高架促進事業 1, 010千円

鉄道により分断された市街地の一体化、及び交通渋滞の緩和を図るため、県市協調のもと、鉄道の連続立体交差事業を実施する。

## 21 地域交通ネットワークの構築

本市の公共交通の中心であるバス路線のあり方を検討し、市民の利便性や運行の効率性の向上を図った地域交通ネットワークを構築する。

(1) 地域公共交通活性化事業 134, 170千円

市長部局に移行する路線の計画的な実証運行を実施する。

(2) 地域自主運行バス等支援事業 2, 400千円

公共交通不便地域等で地域住民が自主運行するバスの維持費用を支援する。

- (3) **公共交通不便地域調査事業 [新]** **4, 990千円**  
公共交通不便地域の現状及び住民の公共交通に対するニーズを把握するための調査等を実施する。

## 22 学校施設の整備・充実

安心して快適な教育環境を確保するため、小・中学校施設において耐震性が低いものや、老朽化が著しいものの増改築等を計画的に実施する。

- (1) **沖洲小学校増改築** **1, 293, 205千円**

H24：用地取得・実施設計、H25～H27：増改築工事

- (2) **大松小学校屋内運動場増改築** **22, 277千円**

H23：実施設計、H24～H27：増改築工事

## 23 放課後子ども教室推進事業 **8, 260千円**

子どもに安全で安心できる活動拠点として、小学校の余裕教室を活用した放課後子ども教室を開設し、学習や運動、文化活動、地域住民との交流活動等を実施する。

## 24 トップアスリート「夢の教室」実施事業 **844千円**

小学生を対象に、様々なスポーツ選手を講師として、「夢の教室」を開催することで、こどもたちの心に感動を与え、失敗や挫折に負けない人間を形成していく。

# 「安心とくしま」の実現

すべての人が生涯を通じて、心も体も健康で、いきいきと暮らすことができる、「安心とくしま」の実現を目指します。

## 1 妊婦健康診査事業 235, 202千円

妊婦の健康保持・増進を図るため、妊娠週数に応じた健診（14回分を全額公費負担）を実施する。

## 2 健康診査事業 185, 273千円

各種がん等を早期発見し、早期治療につなげるため、各種がん検診などを実施する。

※大腸がん検診：40歳以上60歳までの5歳刻みで無料検診

子宮頸がん検診：20歳及び25歳、30歳、35歳、40歳でこれまでの未受診者に対し無料検診

乳がん検診：40歳及び45歳、50歳、55歳、60歳でこれまでの未受診者に対し無料検診

## 3 予防接種事業の充実

感染症の発生や流行の予防などを図るため、予防接種法に基づく定期予防接種を実施する。

### (1) 小児等定期予防接種 509, 524千円

BCG、三種混合、四種混合、不活化ポリオ、二種混合、麻しん・風しん、日本脳炎、ヒブ、小児用肺炎球菌、子宮頸がん、水痘の各ワクチン

### (2) 高齢者等定期予防接種 82, 325千円

高齢者を対象に、インフルエンザや肺炎球菌感染症予防接種費用の一部を助成する。

## 4 臨時給付金の給付

消費税率引上げによる需要の過度の変動が景気の下振れリスクとならないよう、低所得者・子育て世帯への影響を緩和するための給付措置を講ずる。

### (1) 臨時福祉給付金給付事業 508, 420千円

低所得者へ6千円支給。対象者：約65,000人

### (2) 子育て世帯臨時特例給付金給付事業 105, 384千円

平成27年6月分の児童手当（特例給付を除く）受給世帯の対象児童1人当たり3,000円支給。  
対象児童数：約29,000人

## 5 第3子以降保育所・幼稚園保育料の無料化等

保護者の経済的負担を軽減するため、第3子以降の保育所に入所する児童、幼稚園に在籍する園児に対し、保育料負担軽減を実施する。

### (1) 保育所・幼稚園の保育料無料化 歳入△186, 019千円

市立・私立認可保育所：△179,308千円、市立幼稚園：△6,711千円

### (2) 国・私立幼稚園の保育料負担軽減補助 2, 644千円

該当園児の保育料を一部軽減補助

## 6 病児・病後児保育事業〔定〕 52, 588千円

子育てを側面から支援するため、保育ニーズの多様化等を踏まえ、病児・病後児保育に取り組む。連携11市町村において医療機関等9か所で実施。

**7 産前・産後家事育児支援事業** **1, 236千円**

孤立感を持ちながら出産・育児に臨む妊産婦等に対し、産前・産後の一定期間における家事・育児支援制度を創設し、気軽に「家事育児サービス」を受けていただくことで、出産・育児に伴う不安感、負担感の軽減を図る。

**8 市立保育所機能整備事業 [新]** **87, 184千円**

待機児童対策として、市立名東保育所において、ニーズの高い乳児（0歳児、1歳児）の定員拡大のための施設改修を行うとともに、地域子育て支援拠点施設を整備し、在宅育児家庭への子育てを支援する。

定員：90人→95人。うち乳児の受け入れ：15人→20人

**9 幼保一体的運営施設整備費 [新]** **29, 775千円**

市立幼稚園再編計画及び市立保育所第2期再編計画に基づき、北井上幼稚園、北井上保育所、芝原保育所を統合し、幼保一体的運営施設を整備する。

平成27年度：設計、平成28年度～平成29年度：工事

**10 乳幼児等の医療費助成** **814, 148千円**

乳幼児等における疾病の早期発見と治療を促進するとともに、安心して子どもを産み育てることのできる環境づくりを推進するため、乳幼児等に係る医療費の一部を支援する。

対象者：小学6年生修了まで

**11 学童保育事業** **248, 993千円**

保護者が仕事等により昼間家にいない児童を対象に、学校の終了後に適切な遊びと生活の場を提供する学童保育を実施する。

**12 学童保育会館の整備 [拡]** **109, 659千円**

放課後における児童の健全育成を図るため、建設から年数を経たプレハブ施設のうち、助任第一、第二学童保育会館を改築し、保育環境の改善を図る。

**13 子育て安心ステーション運営事業** **16, 478千円**

アミコビル内の図書館に隣接する立地を活かし、誰もが安心して気軽に子育てに関する情報収集や相談、交流できる機能を有する子育て安心ステーションを運営する。

**14 障害児保育の推進（3月補正）** **75, 000千円**

私立保育所における障害児の受け入れ体制を強化するため、インセンティブを高める助成制度を設ける。

**15 障害者の支援**

障害者が地域で安心して暮らせることを目的として、障害者に対する各種支援事業を実施する。

**(1) 介護給付費・訓練等給付費** **4, 592, 347千円**

居宅介護、短期入所、生活介護、共同生活援助等のサービス費用を給付

**(2) 更生医療給付費** **573, 071千円**

人工透析、ペースメーカー等の自立支援医療費の支給

**(3) 相談支援事業** **37, 990千円**

相談からサービス利用までの手続きや自立支援協議会の運営等

- (4) **地域活動支援センター事業** 69,700千円  
通所による創作的活動又は生産活動の場の提供等
- (5) **障害者見守りネットワーク事業** 890千円  
障害者が住み慣れた地域で不安なく安心して暮らせるよう、地域住民や協力事業所等と連携し、地域全体で見守りを行い、緊急時の迅速な対応体制を構築する。

## 16 地震・津波対策の強化

近い将来に発生が予測されている南海トラフ巨大地震等の大規模災害に備えるため、地震・津波に重点を置いた防災・減災対策などに取り組む。

- (1) **地区別津波避難計画策定事業 [新]** 3,991千円  
既に策定している徳島市津波避難計画を基に、地域ぐるみで円滑な避難ができるよう、自主防災組織等に対し、地区別津波避難計画の作成を支援する。平成27年度はモデル実施とし、平成28年度以降の策定方法等を検討する。
- (2) **避難所機能強化事業** 1,478千円  
迅速な避難のため、津波避難施設に地震動に連動して解錠する鍵保管庫を設置。

## 17 防災対策の強化

自主防災組織の充実・活性化や資機材の整備を行うことで、地域の防災力を強化するとともに、消防機能を向上させることで、災害時の備えとする。

- (1) **自主防災組織充実・活性化事業** 13,948千円  
自主防災組織の充実・活性化のため、地区自主防災連合組織に、防災資機材の購入や防災訓練・啓発活動等に係る経費の助成や、防災リーダーの養成のため防災士資格取得を支援する。
- (2) **地域防災力強化事業** 1,000千円  
地域住民による実践的な情報を示した地域独自の防災マップの作成を支援。市内2地区で実施。
- (3) **災害用備蓄物資整備事業** 15,546千円  
小・中学校やコミセンなどに分散備蓄している食糧・飲料水を計画的に更新する。  
備蓄数量：食糧117,000食、水117,000本
- (4) **家具転倒防止対策推進事業** 1,795千円  
高齢者や障害者世帯への家具転倒防止器具設置支援。  
設置費と器具代の一部は無料。
- (5) **消防ポンプ自動車等整備事業** 73,412千円  
高規格救急車や消防ポンプ自動車等の整備。
- (6) **高機能消防指令センター等整備事業** 1,091,088千円  
緊急情報指令システムの老朽化及び消防救急無線のデジタル化に合わせた消防指令センターの整備。平成26年度～平成28年度：工事
- (7) **防災ラジオ整備事業 (3月補正)** 30,501千円  
災害情報伝達システムの多重化を図るため、防災ラジオを配布し、早期避難率の向上や、意識啓発に努める。
- (8) **ハザードマップ作成事業 [新] (3月補正)** 7,562千円  
土砂災害に対する注意喚起と対象地域住民の早期避難を可能とするため、土砂災害警戒区域等を記載したハザードマップを作成・配布する。

## 18 民間建築物の耐震化促進

民間建築物の耐震化を図るため、耐震診断費用や耐震改修費用を支援する。

- (1) 既存木造住宅耐震化促進事業 [拡] 87,380千円  
民間木造住宅の耐震診断や改修費用を助成。  
耐震診断：無料、本格耐震改修費用：2/3を助成（上限600千円）、簡易改修費用：1/2を助成（上限600千円）
- (2) 既存建築物耐震改修促進事業 6,090千円  
病院やホテル等の特定建築物に係る診断費用の2/3を助成（上限2,000千円）。
- (3) 指定避難路沿道建築物耐震化事業 [新] 47,637千円  
国道11号・55号・192号に接し、震災の際に通行の妨げとなる恐れのある建築物について、耐震診断費用の5/6を助成。

## 19 公共施設の耐震対策

1,676,063千円

旧耐震基準の公共施設の早期耐震化を進めるため、計画的に施設の耐震診断や耐震補強・改修事業を実施する。

市営住宅、消防施設、市立体育館、橋りょう、水道配水管等の耐震診断や耐震補強・改修 など

## 20 公共施設の計画的な維持管理等の推進

老朽化が進んでいる本市の公共施設の効率的な維持管理を行うとともに、中長期的な財政負担の平準化・軽減化を図るため、年次計画を策定し、施設の適切な維持管理等に取り組む。

- (1) 公共施設長寿命化現況調査事業 5,210千円  
従来の対処療法型管理から、予防保全型管理への移行を推進するため、平成26年度から2か年で施設の現況カルテを策定する。
- (2) 橋りょう長寿命化事業 [拡] 235,000千円  
橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、富田橋を含め7橋の修繕を実施する。
- (3) 道路ストック点検事業 [新] 11,000千円  
安全な通行の確保のため、道路照明灯や、道路面を計画的に点検する。

## 21 電線類地中化事業

82,015千円

安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成及び道路の防災性向上のため、富田橋通り線の電線類地中化事業を実施する。

全体計画平成23年度～平成29年度：全長550m（両側）

## 22 危険廃屋解体費支援事業

3,900千円

長年放置され、周辺住環境を悪化させている危険な廃屋への対策として、その解体に必要な費用の一部を支援する。解体費の1/2を助成（上限300千円）。

## 23 安全で快適な通行路の確保

歩行者や自転車通行に配慮した通行を確保する。

- (1) すいすいサイクル事業 52,000千円  
自転車や歩行者の接触事故等を防ぐため、自転車レーンを設置する。  
実施箇所：北佐古・南前川線の460m
- (2) あんしんカラー舗装事業 11,000千円  
園児の安全確保のため、幼稚園周辺道路にある横断歩道の前後などをすべり止めカラー舗装と

し、急ブレーキ時の制動距離の短縮と、視覚的注意喚起を図る。

## 24 太陽光発電設備の導入

地球温暖化対策を推進するため、太陽光発電設備の導入を促進する。

- (1) 太陽光発電の建設（水道局）[拡] 8,000千円  
第十浄水場敷地内に、太陽光発電設備を増設する。
- (2) 住宅用太陽光発電導入支援事業 [定] (3月補正) 10,000千円  
市内の住宅に太陽光発電システムを設置する場合において、その費用の一部を支援する。  
補助対象：住宅用太陽光発電システム、補助金額：50千円/件、募集件数：200件
- (3) コミュニティセンター太陽光発電整備事業 27,000千円  
応神、加茂、佐古の各コミュニティセンターに太陽光発電設備を設置する。

## 25 防犯灯LED化事業（3月補正含む） 133,484千円

町内会等の設置した防犯灯のLED化を平成26年度から3年間の目標で進めていたが、地域の要望や省エネルギー化の促進を考慮し、平成27年度中に完成させる。

## 26 防犯灯電灯料金補助 26,005千円

町内会等が管理する防犯灯の電灯料金について、町内会等の負担軽減のため、本市要綱で定める電灯料金基準額の全額助成を行う。

## 27 ごみ減量・再資源化推進事業 38,215千円

市民団体による資源ごみ回収事業（古紙類、アルミ缶等の金属類、古布、廃食用油など）を実施するとともに、食品トレイや廃蛍光管の回収ボックスを設置するなど、ごみの減量と再資源化を促進する。

## 28 浄化槽設置推進事業 117,514千円

河川などの保全と水質浄化を促進するため、合併処理浄化槽の設置者に対して設置費用の一部を支援する。

助成基数：760基（新設：650基、転換：110基）を予定

## 29 葬斎場改修事業 246,944千円

施設の老朽化や火葬件数の増加に対応するため、葬斎場の施設改修を行う。

平成24年度：実施設計、平成25年度～平成28年度：改修工事。火葬炉：10基→12基

## 30 市民病院におけるがんセンターの開設（病院局）[新] 145,371千円

腫瘍外来や、緩和ケア外来・病棟の開設、多職種のがん専門スタッフの確保、がんセンターボードの充実により、がん対策を強化する。

## 「信頼とくしま」の実現

市民・事業者・行政がともに信頼しあい、市民がまちの主角としていきいきと輝くことのできる、「信頼とくしま」の実現を目指します。

### 1 徳島市総合計画策定事業 [新] 7,078千円

平成29年度からの新たな総合計画を、平成28年度までの2か年で策定する。

### 2 まち・ひと・しごと創生総合戦略策定事業 [新] (3月補正) 4,908千円

人口減少と地域経済縮小の克服に向け、本市の総合戦略を策定する。

### 3 広報紙発行事業 47,202千円

より多くの市政情報、市民が求める情報をよりわかりやすく、タイムリーに発信するため、「広報とくしま」を月2回発行する。

### 4 ホームページリニューアル事業 [新] 27,955千円

情報発信力の強化を図るとともに、ホームページのユーザビリティ・アクセシビリティの向上とさらなる充実を目指すため、本市ホームページをリニューアルする。

### 5 市民との協働の推進

#### (1) とくしま協働制度事業 700千円

平成25年度に策定した新たな協働制度に基づき、協働によるまちづくりを推進するため、NPO、企業、及び地域団体等と、行政との協働による事業を募集し、その事業費の一部を支援しながら、社会的な諸課題の解決に取り組む。

#### (2) 協働事業の実施 [拡] 1,500千円

公募により選定された協働事業について助成する。

体験型市民農園開設事業：体験型市民農園の貸し出し

水都体感トラベル事業：新町川、助任川一帯でのカヤック等の貸し出しによる体験型観光の提供

食育サッカーフェスタ：徳島出身Jリーガー選手との食育学習の実施

#### (3) 「地域の絆づくり」支援事業 2,688千円

活力ある地域社会を実現するため、地域住民や企業などがお互いに連携し、地域が自主的・主体的に自らの課題解決できるよう、その取組みを支援する。こうした取組みにより、地域の絆を深め、これからのまちづくりにつなげる。

### 6 アドプト事業の推進

本市が管理する施設を清掃活動する市民団体、町内会等に対して、活動に必要な清掃道具等を支給し、清掃活動を通じた市政への市民参加の推進を図る。

#### (1) 農地施設アドプト事業 (農道・農業用水路) 155千円

#### (2) みちピカ事業 (市道) 997千円

#### (3) パークアドプト事業 (公園) 734千円

### 7 行財政力強化の推進 ※一部 [定] 1,257千円

本市の将来像「心おどる水都・とくしま」実現のため、行財政力強化プラン（平成 26 年度～平成 29 年度）に基づき、行財政力の強化に向けた取組みを推進する。

## 8 窓口サービスの向上

4, 799 千円

証明書の交付請求書・住民異動届等の記載支援等を行うことで、受付時間短縮による市民満足度の向上を図る。

## 9 番号制度への対応

222, 563 千円

平成 28 年 1 月から、社会保障と税に関わる番号制度が利用開始になることから、各種システム改修を行うとともに、問い合わせ等の対応を行い、円滑な制度導入を図る。

## 10 職員研修 ※一部 [定]

13, 052 千円

常に市民目線に立ち、能力や専門性を主体的に向上させるとともに、市民のために自ら考え行動する職員を育成するため、各階層において必要とされる基本的知識・技能を習得する基本研修や、様々な行政課題に対応するための専門的知識・技能を習得する専門研修を実施するほか、より高度で専門的な知識・技能を習得することを目的に外部研修機関等へ職員を派遣する。